

『世界津波の日2018
高校生サミットin 和歌山』に
海外から参加した高校生の皆さんに
たちばな支援学校高等部生が
手作り記念品をおくり、交流しました。

作業学習の時間を利用して、一つ一つ心を込めて作りました。
そして、平成30年10月29日、30日の両日、和歌山県立耐久高等学校で行われた歓迎セレモニーで、高等部代表生徒が英語でスピーチを行い、参加者に記念品を贈呈しました。また、うれしいことに各国の参加者からもお土産を頂きました。



本校からの記念品

“かえるストラップ(Accessories with frog face motif) ”



これは、日本を代表する花である「桜」の木の枝を使って作っています。

私たちは、桜の木の枝を注意深くノコギリで切り、ていねいにサンドペーパーで磨きました。

そして、米油で光沢を付けた後、それぞれのパーツを取り付けて、カエルの顔になるようにしました。

"Frog"は日本語で「かえる」と言います。「かえる」ということばには、「帰る」という意味があります。「大切な人のところに帰ってください」という意味を込めて作りました。

“和紙のしおり (Bookmark made of handmade paper) ”



これは、牛乳パックを加工して作ったしおりです。

まず、牛乳パックを細かくちぎり、4時間煮ます。そのあと、さらに細かくちぎり、ミキサーにかけます。それが、手漉き紙の素になります。

次に、この紙の素と水を混ぜ、漉き枠ですくいます。それを乾かすと和紙になります。

時間をかけて、1枚1枚ていねいに作った和紙に、バランスを考えて飾りをつけてしおりにしました。

和紙ならではの手触りを楽しんでください。

“陶製マグネット (Ceramic magnet) ”



これは、土粘土で作りました。

日本の桜や手裏剣をモチーフにしたマグネットです。

型を抜いて、焼いて、磨いて、色を付けて、また、焼いて、磨いてと、心を込めて丁寧に作りました。

大切なものをなくさないようにする時に使ってください。

このマグネットを見るたびに日本のことを思い出してもらえたら嬉しいです。

“ビーズストラップ（Beads accessories）”

“くるみボタン（Covered button）”



ビーズストラップ

ビーズの配色を考えながら、糸に通して作りました。最後の結び目がほどけないように、注意して、力を入れて結び、仕上げています。

くるみボタン

私たちは、自分たちで染めた布を使って、くるみボタンを作りました。ヘアゴムやアームバンドとして使ったり、お弁当箱に巻いたりするなど、いろいろな用途で使っていただけます。

上記の製品について

上記の製品は、本校で購入することができます。
ご希望の方は、本校まで電話等でお問い合わせください。

なお、上記以外にも生徒達は、加工班、木工班、窯業班、縫製班、農耕班に分かれて、さまざまな製品作りをしています。一般販売も行っていますので、興味のある方はお問い合わせください。

